

ワークライフバランスのとれた
中屋さんの1日のスケジュール

| | | |
|---------------------|-----------------------------|--|
| 7:00 | 起床。午前中は家事と事務処理・レッスンの準備 | 2人の子供は大学生になり、子育てにかかる時間は減少し、仕事に使える時間が増えた。 |
| 14:00 | ランチを済ませて、レッスン開始の1時間前を目安に教室へ | |
| 15:00 〜 22:00 | レッスン (曜日によって時間は異なる) | 週6日のレッスンで日曜日は完全オフ。「仕事をしてお母さんが帰って、送り迎えできる土曜日の生徒数が一番多く、朝8時半から13時過ぎまでレッスン、午後はオフになっています」 |
| 22:30 | 帰宅後、食事 | 「息子が食事を作っておいてくれることも多いんですよ」と中屋さん。夜に仕事をすると気分が高ぶって眠れなくなってしまうため、リラックスしながら自分の時間を過ごす。 |
| 00:00 | 就寝 | |

自宅が小規模からスタート。テナントでの開講が転機に

その後、日本に帰国した中屋さんは身につけた英語を磨き続けたと思うように。

「子ども2人に英語を形として残してあげたいと、私が先生役になり英検にチャレンジさせたら、2人も小学生の間に2級まで取得。それが『私の教え方は間違っていない』という自信に。さらに、近所の方から『子どもの英語を見てほしい』と頼まれるようになり、英語を教える仕事に興味を持ち始めました。そして、2012年に自宅の1室を利用して教室を開講。

「実はその頃、ミュージシャンの仕事もしていたため、少人数で週3日という規模でのスタートでした。ところが、少しずつ

生徒も増えてきたと思っていた矢先、大家さんの都合で自宅を利用することができなくなってしまった。教室ができる所を探し、2016年から現在の場所での再スタートとなりました」

そして、それが大きな転機となったと中屋さんは言う。

「テナントを借りたことでビジネスとして本気度が増し、商工会議所の補助金に応募。その資金で宣伝に力を入れたことも生徒増につながり、仕事との向き合い方も変わったと感ずきます」

兄弟姉妹で通う子ども多いという教室は8年目を迎え、ECCジュニア教室のモデルとして活躍する「グランジュニア教室」に認定されるまでに成長した。

「ECCジュニアの充実した研修で教え方をスキルアップさせ、自分磨きとして資格試験にも挑

戦っています。また、近隣の先生方と『こんな時はどうする?』と情報共有する食事会も定期的に設けています」

40歳の時にECCジュニア心理学を学んだ中屋さんは、個性を活かした指導を心がけているという。

「のんびりしていた子が急にスイッチが入る瞬間を何回も見てきました。地道に続けることで小さな花がポツと咲く瞬間を見つけた時はとても感動します」

ホームティーチャーになったことで自分自身も大きく成長させてもらったと語る中屋さん。

「もともと英語が好きではなかった私だからこそ、楽しさを伝えてあげたいと思っています。この仕事に向いている能力を潜在的に持つ方はきっとたくさんいます。私には無理!」と思わず、チャレンジしてみてください」

My Dream
これからやってみたいこと

今年の夏に生徒を連れて初めて行ったオーストラリアへの短期語学研修ツアーを2年に1回でも継続していきたい。「引率していくのは責任も伴い、大変なことですが、子どもたちに生きた英語を経験してもらいたいと思っています」(中屋さん)



今年の夏のケアンズツアーの様子。現地での様子を報告すると、「聞いているだけで涙が出てきました」と保護者にも感謝されたという。

My Rule
大切にしている自分ルール

- 英語学習の楽しさを知った初心を忘れず! アメリカ滞在中、外国人向けの英語の授業で優秀生徒として表彰された時の賞状を教室に飾っている。諦めないで学習を続けて、それを形にしたその気持ちを忘れないように。
- 小さな成長を見逃さず、褒めてあげる 地道に頑張った子に咲く小さな花を見つけるのが得意だという中屋さん。「すごいじゃない!」というと、すごくうれしそうに顔に。そういう変化を見逃さずに褒めてあげたい」

自分らしく長く働く。

ホームティーチャーに興味を持ったらずは気軽に説明会へ。

英語が好き、子どもが好き、教えることが好き。ECCジュニアのホームティーチャーはそんな女性にピッタリの仕事。自宅でも貸会場・テナントなどの場所でもできる自由度の高さも魅力。自分らしい働き方として少しでも興味を持ったなら、まずは気軽に説明会に参加してみよう。

コースや教材、サポート体制、収入システムについてや教室開講までの流れなどを詳しく説明してくれるほか、個別相談にも親切丁寧に対応してくれるので初めてでも安心。説明会は全国各地で定期的開催。その他、電話による問い合わせや資料請求などにも随時対応している。詳しくはホームページをチェック!

ワタシらしい充実時間の作り方

好き!! を続ける
キャリアの道とは?

人生100年時代のロールモデルとして、好きな仕事で生き生きと輝く女性に、仕事への思い、これからの夢を伺いました。

PROFILE
ECCジュニア 空間2丁目教室
中屋香織さん(49歳)

家族の都合で海外に暮らすことになったのを機に30代で英語学習に目覚める。帰国後、身につけた英語を使った仕事がしたいとECCジュニアのホームティーチャーに。武蔵野大学人間関係学科(心理学専攻)卒。ロードバイクが趣味というアクティブな一面も。



アメリカ滞在中の英語学習「ESOL」で取得した証明書。今も大切に教室に飾っている。「ESOL」とは、English for Speakers of Other Languagesの略。英語以外の言語を母国語とする人たちのための英語習得講座のこと。

「私には無理」ではなく、チャレンジしてみる。それが大事!

中屋さんのキャリアヒストリー

Start 19歳

公務員として働いていた20代
福岡県北九州市出身・卒業後、国家公務員採用試験に合格し、採用の連絡をドキドキしながら待った。無事に福岡の官公庁への勤務が決まり、初の一人暮らしを開始。26歳で退職。

Change! 31歳

海外暮らしで英語の大切さを知る
家族の都合によりアメリカで暮らすことに。1度帰国するも再度渡米し、計3年間の海外暮らしを経験。

Change2! 42歳

英語の楽しさを伝える仕事に
2012年、42歳の時にECCジュニアのホームティーチャーに。8年目を迎えた今年、モデルとなる「グランジュニア教室」に選ばれた。

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。